

POINT 03

入試の特徴

入試当日、生徒や保護者に対して努力の結果を即座に伝える本郷ならではの寄り添ったサポート体制

得点開示

合格発表後、希望者に対し得点開示を行います（合格者を除く）。開示時間は試験日当日の19～19時半、翌日の9～10時。この時間帯に受験票を持参の上、本郷に直接お越しいただくと、各教科の得点と合格最低点を開示します。20年以上前から実施しているこのシステムの意図は、本郷では複数回受験者も多いため、自分に足りなかった点を知ることにより、次の入試につなげてほしいという思いからです。



模範解答発表

入試当日、保護者は体育館の待合室で待機をします。各試験が終わった5～10分後に、問題と解答をボードに掲示。また1時間目の国語と2時間目の算数が終わった時点で、紙による配布も行っています（その後も社会・理科の2教科ごとの配布）。受験生は問題用紙の持ち帰りが可能なため、問題用紙に解答を記入していれば、当日中に自分の解答と模範用紙を照らし合わせて、すぐに自己採点が可能です。



繰上合格

繰上合格は複数回実受験者から選出されます。合格は試験の得点順[®]に、学校から電話にて連絡します。連絡がつかない場合でも、確認が取れるまで対応。基本的には連絡が取れた時点で、入学の意思を確認します。繰上合格連絡の終了は、当校のホームページにて通知されます。

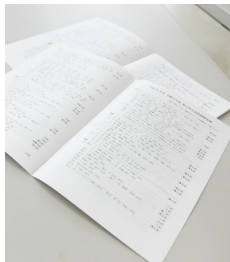
※第1回試験でAさんとBさんが同点で不合格となった場合、第2回の試験の結果で得点が多い受験者順に、学校から繰上合格の連絡をします。

TOPICS

【入試解答正答率】

基礎学力の定着を重視した合格までの最善策

本校に合格するための方法論の1つとして、偏差値ではなく「入試解答正答率」を重視する傾向があります。過去問題で解答率が3～5%などの難しい問題ではなく、60%前後の問題を確実に正解するようにするのが一番合格への最善策です。本郷のホームページに掲載してある過去問題の解答例には、解答の横に分数が書いてあり、受験者数分の正解者の数を確認することができます。合格者の声で一番多いのが、正答率を念頭に置き、過去問題を取り組むことでした。中には5年、10年分をコツコツと取り組む人も。「本郷で何がしたい」というイメージをモチベーションにして、楽しみながら取り組んでいって欲しいと思います。



HONGO JOURNAL

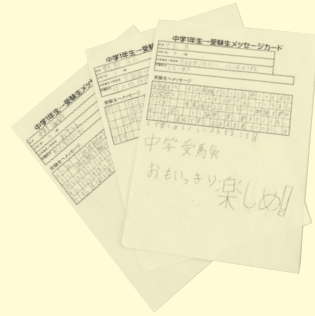
本郷中学校・高等学校
HONGO JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

本郷
×
受験生へ
メッセージ



生徒の 縦の繋がりを力に 問題解決力を高める

本郷では入学して間も無く先輩との合同授業で勉強方法を学び未来の本郷生へ向けメッセージを書き伝えます。問題を吸収し、伝えようとする力から生徒自身の能力が十二分に発揮されます。



POINT 01 縦のつながり

5月下旬の中間テストに向け、GW明けに中学1年生は2年生とペアを組み教わる「合同授業」を行っています。年に3〜4回、その時期に合わせた様々なカリキュラム内容で実施。テストへの心構えや学習方法はもちろん、勉強と部活の両立や将来についての相談など、先生ではなく先輩にアドバイスをもらうことで身近に感じられ、自主的に学習意欲を高めます。この合同授業がきっかけで、先輩に対する憧れや友情が芽生えることも。また2年生になった時にはアドバイスをする側になるため、伝えることを意識しながら深く授業に取り組む姿勢も見受けられ

先輩から後輩に伝える学びの多い授業 縦の繋がりを土台にし成長する

ます。実際、教える際には一度基礎を見つめ直す機会になり、更の一つ上のステップである「どうやって分かりやすく伝えられるか」「自分はこういう問題の時にこうやって乗り越えた」という経験を踏まえ、創意工夫をする力が身に付きま

先生主導ではなく、生徒同士で問題に対する解決法や伝え方を考えることで、今までよりペンが動くようになったという生徒の声もありました。生徒同士の縦の繋がりの強さと、個々の自主性を重んじる本郷ならではの姿がここにありま



MESSAGE

勉強方法、学校での環境、感謝の気持ち…先輩から後輩へ伝える率直な言葉

合同授業をする中で見えてきたのは、生徒から生徒への言葉の熱量はとても伝わりやすいということでした。そのきっかけを元に、数年前から受験生に向けてメッセージカードを書いています。思いを伝えるのは中学1年の生徒たち。合同授業直後に、先輩のアドバイスも受けた彼らが、未来の本郷生に向けてアドバイスを書き記しています。このメッセージカードは学校説明会などで目にする事ができます。

本郷紹介

本郷中に入学し、想像していた以上に楽しい日々を過ごしています。今は、すくすく勉強の日々が続いていると思いますが、受験が終わった先には新しい友達との楽しい日々が待っています！皆さんがんばってください！

熊谷 社朗 / スキー部

本郷中は部活と勉強が両立してできる学校です。今は受験勉強で大変かもしれませんが、本郷中に入れば部活にも力が入れる事ができるので楽しいです。また、周りの人も色々しいので学校生活も楽しめます。がんばれ。

猪鼻 友祐 / 卓球部

ほくは、本郷中学に2月5日で受かりました。受験生には、最後まで、粘り強く悔いの残らないよう、がんばってほしいです。ほくが本郷に受かった時、知り合いはこの学校に1人しかいませんでした。しかし、目を重ねるごとに友達がどんどん増えていきました。なので、心配しなくてだいじょうぶです。

米山 結登 / バドミントン部

ほくは第一志望で本郷に入ったわけではありません。ですが入ったらすぐ運動することが多くあり校内で大会などがあり、また勉強も先生が面白くて楽しいです。とにかく文武両道で楽しく今ではここでよかったと思います。

小林 瑛汰朗 / サッカー部

方法論

僕は、受験を5年生の5月の上旬から始めました。僕は特に理科が苦手で、とにかくさかのぼり基礎を根本からやり直しました。それでも、過去問をやっても受験者平均にも届かずひどく落ち込みました。でもあきらめずに勉強をしました。そして迎えた当日、精一杯テストに臨むと、今までで一番の出来でした。あきらめずに自分の実力を信じてテストに臨んで下さい。僕は遠い所からみなさんを応援しています。頑張ってください！

四元 瑛介 / テニス部

僕は、問題を解くときに、どの教科でも考えた過程を、式や文字にして書くことを意識しました。どこを間違えたかを考え、欠点をなおすことで、難しい問題にも立ち向かえるようになります。自信を持ってください。

渡邊 裕介 / 科学部

算数は間違ったところを復習してください。国語、理科、社会は基礎をかためること！コアプラス、漢字、重大ニュース、白地図、苦手分野の復習をしてください！男子校はとても楽しいです！文武両道で良い学校です。怒られてもくじけずに頑張ってください！努力は裏切りません。サッカー部で待ってます！

伊藤 泰成 / サッカー部

精神論

受験生へ、今は成績がよくても悪くても自分の努力次第でどんなにかたむいていきます。ですが、一番成績がよくなるのは勉強を楽しむこと！ってそう簡単に楽しめませんよね。ならば、自分で楽しむ方法を見つたり、自分で楽しめるように工夫すること！中学受験おもしろい楽しみ！

中島 真 / スキー部

ほくは、この本郷中学が第一志望でした。しかし、過去問を解いていくうちに「本当に本郷に入ることができるのだろうか」と不安をもっていました。受験には不安がつきものです。不安に負けない心身につけましょう。

中村 海鈴 / 軟式野球部

僕は第一志望と第二志望に落ちて本郷中学校に通っています。しかし、僕は全く後悔していません。それは悔いが残らないよう一生懸命勉強したからです。皆さんも、悔いのない学校生活が送れるよう、頑張ってください。

西村 元 / サッカー部

中学受験は長くは大変です。でも努力すれば報われます。時には、テストで点がとれなかったりしてつらくなることもあるでしょう。でも、過去問題をしっかりとやって、「絶対かかってやる」という、強い気持ちを持って、でも、リラックスして試験にのぞみましょう。学校は楽しいです。受験生ファイト！！

大原 理幹 / 少林拳法部

ほくは合不合などの模試では本郷に全く届かないほどの偏差値でした。しかし、塾で行う過去問では最初はボロボロだったけれど、数を重ねるにつれ点が上がり、最終的には本郷中学に合格できました。テストの結果も大事だけれど一番大事なのは合格したいという気持ちです。

丸山 平蔵 / マイコン部

みなさんは、中学校に入ってやりたい事を決めていますか？その夢を持つことが受験勉強の大きな力になると思います。目標意識が勉強のモチベーションになります。まずは小さなことでも良いので（何部に入りたい！など）中学校での夢を持ちましょう。それがきつと大きなものになるでしょう。僕もささやかではありますが、みなさんの合格を応援しています。ぜひ本郷中学校合格に向けて頑張ってください！！

今吉 竜一郎 / バスケットボール部

ほくは6年生の今頃は、本郷の偏差値に全くとどいていませんでした。でも、本郷に行きたかったのも、一生懸命がんばりました。みなさんも、みなさんを応援してくれる方へ感謝を忘れず、最後まであきらめないで下さい。

深沢 悠透 / ラグビー部